

令和7年度 富山市総合教育会議 資料

校内サポートルームの設置状況について

【学校教育課】

1 設置校及び指導員

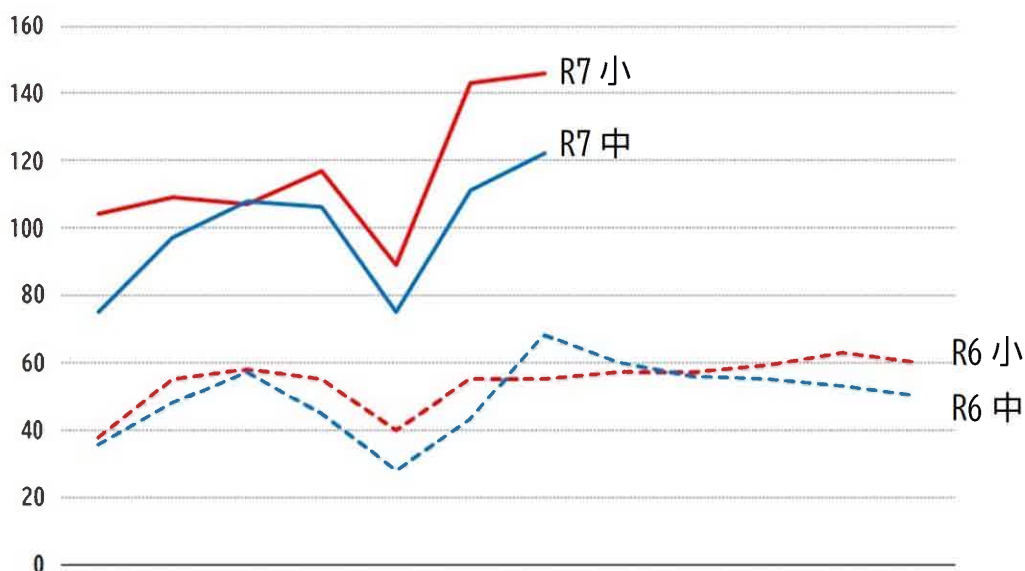
	令和6年度	令和7年度
小学校	8／63校（市指※ ¹ 8人）	15／63校（市指※ ¹ 14人、カ指※ ² 1人）
中学校	9／25校（市指※ ¹ 9人）	21／25校（市指※ ¹ 7人、カ指※ ² 14人）
合 計	17／88校（市指※ ¹ 17人）	36／88校（市指※ ¹ 21人、カ指※ ² 15人）

※1 市指：市費採用の指導員 4時間勤務

※2 カ指：カウンセリング指導員（県費負担教職員） 1日勤務

2 利用状況（その月に一回でも校内サポートルームを利用した児童生徒）

令和6・7年度校内サポートルーム 小・中学校別利用状況（人）



（ ）は、給食を食べている人数

※2人の児童が他校のサポートルームを利用している。

3 利用児童生徒の様子

- ・校内サポートルームを利用している児童生徒が教室で過ごす時間や回数が増えた。
- ・欠席の多かった児童生徒が、ほぼ毎日、校内サポートルームに出席するようになった。
- ・これまで早退していた児童生徒が、一時的に校内サポートルームでエネルギーを蓄えることで、再び教室に戻り早退しないようになった。

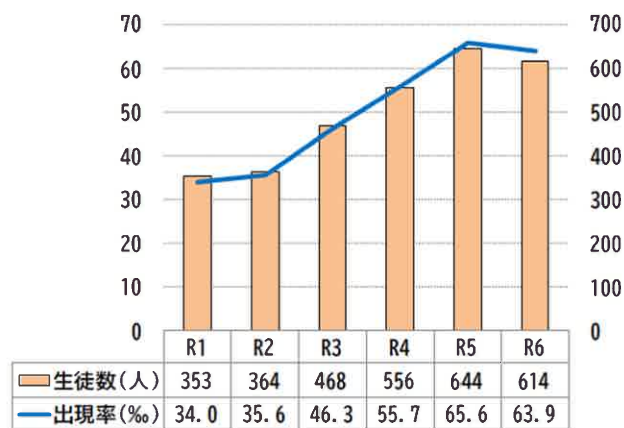
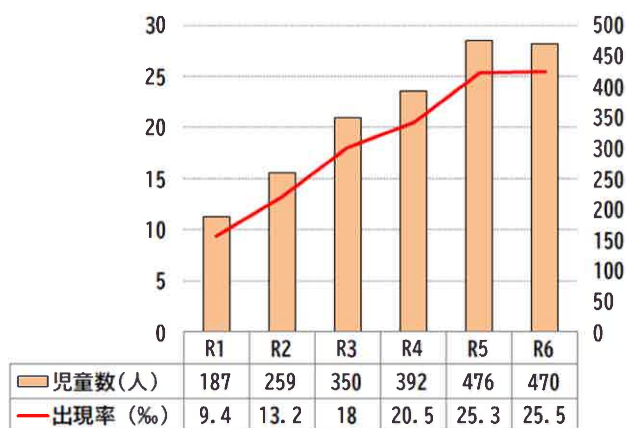
4 改善傾向の内訳（令和7年度1学期に校内サポートルームを一回以上利用した児童生徒数297人）

通常学級での学習活動にほぼ移行した	46人	82.1%
通常学級の在室時間・回数が増加した	31人	
欠席が減り、校内サポートルームの利用時間・日数が増加した	62人	
ほとんど学校に来ることができなかった児童生徒が、校内サポートルームを利用することができるようになった	30人	
欠席日数に大きな変化はないが、校内サポートルームの利用を維持できている	74人	
上記のような効果が見られなかった	54人	

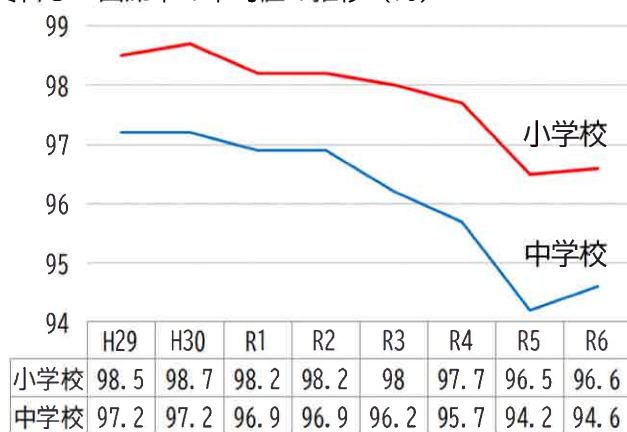
- ・令和6年度については、利用児童生徒（218人）の83.5%で改善傾向がみられた。
- ・令和6年度に校内サポートルームを利用していた中学校3年生57人は、全員、高等学校等に進学することができた。

5 本市における不登校の状況について

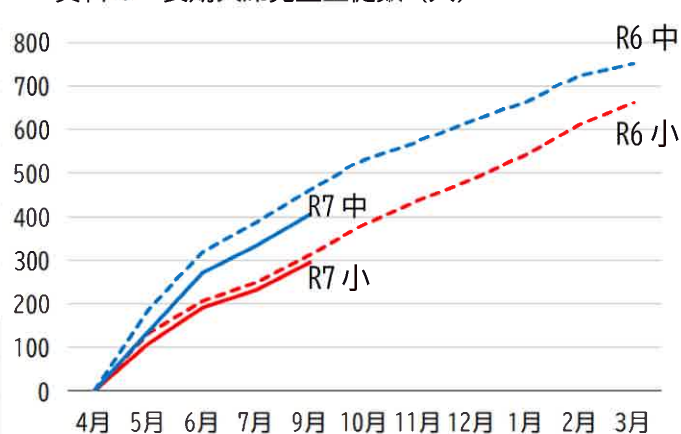
資料1 小学校の不登校出現率(%)と不登校児童数(人) 資料2 中学校の不登校出現率(%)と不登校生徒数(人)



資料3 出席率の平均値の推移(%)



資料4 長期欠席児童生徒数(人)



○不登校出現率・不登校児童生徒数の増加傾向に歯止めがかかった要因

- ・校内サポートルームの設置のほか、教育相談体制の整備やMAP、自然体験活動など様々な不登校児童生徒の状況やニーズに応じた不登校支援の充実を図ってきたこと。
- ・「主体性のある子どもの育成」の実現に向けた授業改善の取り組みや子ども一人一人の個性を尊重しながらを自律と共生を学ぶ教育であるイエナプラン的教育の推進を図ることにより、児童生徒が登校して楽しく学び、安心して過ごすことができる学校づくりに継続して取り組んできたこと。

メタバースの実施状況について

【教育センター】

1 事業概要

- (1)事業名 メタバースを活用した不登校支援事業
- (2)実施期間 令和7年10月6日～令和8年3月31日
- (3)実施目的 メタバース（インターネット上の仮想空間）を活用し、日中、家で過ごす時間が長く、家族以外の人とのつながりが希薄な不登校児童生徒に対し、社会的なつながりや居場所づくり等の支援を実施する。
- (4)対象者 日中、家で過ごす時間が長く、家族以外の人とのつながりが希薄な不登校児童生徒

2 事業進捗

- 学校を通じ、保護者連絡配付システムにてパンフレットを全保護者へ送付開始（9月30日）
- 定例校園長会（7月9日、10月3日）および、小・中学校教頭研修会（8月6日）でMAPメタバースについて周知
- メタバース空間収受（10月6日）
- 児童生徒へアカウント配付開始（10月6日）

3 実施内容

- メタバース空間の様子



【展示・発表エリア】



【面談室】



【おしゃべりエリア】



【イベントルーム】

- 申し込みのあった児童生徒、保護者を対象にオンラインにて個別説明会を実施
- 平日10:00～12:00、13:00～15:00に開室（土日祝日・夏季休業中の学校閉庁日及び年末年始を除く）
- 支援内容
 - ・児童生徒がメタバースに入り、散歩する様子を観察、支援
 - ・直接対話及びチャットを通じた児童生徒支援

- ・学習コンテンツを使用した学習等の支援
- ・Web教材を使用したプログラミング学習の支援
- ・臨床心理士との相談機会を設定
- ・臨床心理士によるミニ講座の開設
- ・通級生とのゲーム等を通じた交流を支援
- ・不登校支援事業「体験活動」等の情報提供

4 利用状況

○利用者の様子

- ・アバターを通して、初めてMAPメタバースを利用する児童生徒の周りに他の児童生徒が自然に集まり、歓迎していることをジャンプで表現している。また、挨拶し合ったり、各スペースを案内したりする様子が見られる。
- ・アトラクションギミックに挑戦する児童生徒を、他の児童生徒がリアクション機能を使って応援する様子が数多く見られる。
- ・普段は口が重たいが、MAPメタバース利用2日目からマイク機能を使って直接会話するまでに発展した児童がいる。
- ・支援員がクイズを出すうちに、児童生徒からクイズを出題するようになり、他の児童生徒と一緒に考えるなどの交流が生まれている。
- ・MAPメタバースを使って楽しかったことをカウンセリング指導員に伝えるために、登校した生徒がいる。

○現在の利用状況（11月20日現在）



	男子	女子	合計
小学生	3名	6名	21名
中学生	6名	6名	

【累積アカウント利用数】



	男子	女子	合計
小学生	6名	6名	27名
中学生	8名	7名	

【累積アカウント配付数】

古志はるかぜ学園の募集及び選考状況について

【学校教育課】

1 転入学の対象児童生徒

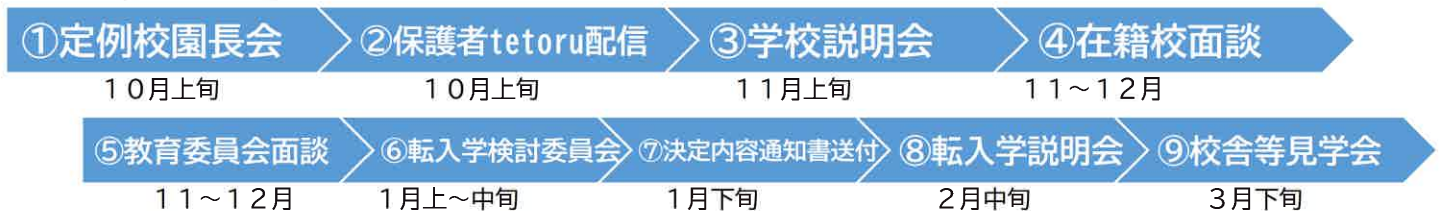
次の(1)～(3)の全てに該当する児童生徒のうち、市教育委員会が認める者

- (1) 富山市内に在住している小学校1年生から中学校3年生までの児童生徒
- (2) 年間30日以上欠席（病気または経済的な理由を除く）した「不登校状態」にある児童生徒、または、年間30日未満でも「教室外登校」をしている「不登校傾向」の児童生徒
- (3) 児童生徒に登校の意欲があり、また、その保護者等の理解があること

2 募集する児童生徒の人数

課程	小 学 校						中 学 校			合計
学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年	
人数	各5～10名程度						各15名程度			90名程度

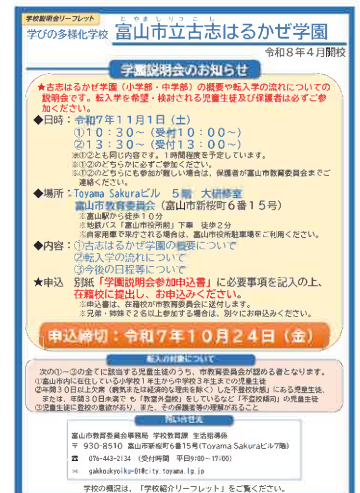
3 転入学の流れ



日時	実施内容
10/ 3(金)	①【定例校園長会 説明】(TSビル)
10/10(金)	②【古志はるかぜ学園説明会案内・保護者 tetoru 配信】
11/ 1(土) 11/15(土)	③【学校説明会】(TSビル) ・「転入学のてびき」を配付 ・転入学希望者は、「転入学申請書」を提出する。
11/ 4(火) ～12/24(水)	④【在籍校面談】(在籍校) ・在籍校で転入の意思確認・相談等を行う。
④終了後、順次⑤を実施	⑤【教育委員会面談】(TSビル) ・転入学希望の児童生徒及び保護者が市教委職員と面談を行う。
1月上旬	⑥【転入学検討委員会】(TSビル) ・転入学の可否を決定する
1月下旬	⑦【決定内容通知書の送付】
2/21(土)	⑧【転入学説明会】(TSビル)
3月下旬	⑨【校舎等見学会(予定)】(浜黒崎小学校)

試し通級(校内サポートルーム・MAP)

入学準備通級



学校説明会リーフレット



転入学のてびき